

森林公園の令和6年度管理状況

様式 1

施設所管課	文化観光スポーツ部 観光戦略課
施設管理者	森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ 代表者 一般社団法人森林公園地域振興会 代表理事 坂本 守
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
中期経営目標 (R5～R9)	①利用者数を5年間で10万人増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>○施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経営理念、行動指針」を意識しながら職員の意識向上を図った。 ・「行動指針」の「より清潔に、より快適に」を目標に、トイレやバーベキュー施設、炊事棟などの衛生管理を徹底し、1日2回の園内巡回パトロールを実施した。 ・HP上に各施設の当日の営業状況を掲載した ・キャンプ場等のネット予約、キャッシュレス対応 ・障害ある方等に対し「公共サービス窓口における配慮マニュアル」により、相手の立場に立って対応するよう努めた。 ・職員のユニホーム着用によるスタッフの明示と接客対応の向上 <p>○利用者の苦情・意見の把握と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを実施 <p>○その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内木育施設「もりのひみつきち」がオープンし、全天候型の屋内遊具施設として、週末を中心に多くの利用者で賑わった。 ・いしかわ動物愛護センター「しっぽのかぞく」がグランドオープンし、ドッグランの利用者等で賑わった。 <p>○自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験教室等のイベントの開催（20回、参加人数262人） ・電動アシスト自転車の貸出 ・森林セラピー事業の実施 <p>○周辺地域、関係機関との連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津幡町健康ウォーク会 ・笠谷地区くらし安心ネットワーク委員会 ・オリエンテーリング協会 ほか
② 広報活動	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによりイベント情報やお知らせを迅速に随時更新 ・新聞社、テレビ、ラジオ、地元情報誌等へ情報提供 ・イベント情報やパンフレットを河北都市の公共施設や金沢駅等に設置 ・プレミアムパスポート事業に協賛（フィールドアスレチック） ・Instagram、Facebookによる情報発信の継続

(2) 令和7年度における取組内容の見直し等

実施内容
特になし

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1 年度平均 (基準値)	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	基準値比	R9年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	179,832人	212,401人	84,253人	196,262人	232.9%	109.1%	280,000人
(2) 貸館稼働率(%)	98.4%	98.4%	36.6%	98.4%	.62 ^{ポイント}	.0 ^{ポイント}	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	95.9%	93.6%	93.0%	92.3%	-.69 ^{ポイント}	-3.59 ^{ポイント}	95.0
施設の維持管理(%)	90.0%	83.0%	88.4%	84.6%	-3.78 ^{ポイント}	-5.38 ^{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	令和5年度は令和5年7月豪雨及び令和6年能登半島地震の影響により長期閉園を余儀なくされたが、R6年度は1年を通じて開園できたこと、また4月にはいしかわ動物愛護センターが開所、7月には屋内木育施設がオープンしたことにより、利用者数が増加したものと考えられる。	4月にはいしかわ動物愛護センターが開所、7月には屋内木育施設がオープンしたことにより、これらの利用者数が増加したものの、園内の一部の林道や遊歩道などは、未だに令和5年7月豪雨から復旧できていないため、利用できない施設が多く、基準値を下回る結果になったものと考えられる。
貸館稼働率	令和5年度は令和5年7月豪雨及び令和6年能登半島地震の影響により長期閉園を余儀なくされたが、R6年度は1年を通じて開園できたため。	顕著な増減なし

<利用者アンケート結果（令和6年4月～令和7年3月実施 有効回答数13件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	84.6%	7.7%	7.7%	0.0%
施設の維持管理(%)	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	大型施設、トイレ、広場は常時実施 道路（遊歩道） 路面清掃を3～11月に実施
(2) 設備保守点検	各広場林道管理（各専門業者へ委託） 消防、電気、水道設備等の保守点検（各専門業者へ委託）
(3) 植栽維持管理	草刈り 6～9月頃に実施
(4) 警備	警備（夜間警備を専門業者へ委託）
(5) 小規模修繕	施設修繕：11件、道路修繕：1件、備品修繕：3件、その他：2件

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・「災害時等における対応マニュアル」に基づき対応することを全職員に周知
(2) 個人情報の管理状況	・「森林公園管理受託業務共同企業体個人情報保護規程」に基づき管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
学習ホール	61	0	
トンカチ館	0	0	
合 計	61	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項 目	収入額	減免額	減免理由
学習ホール	283	187	69件：条例に基づく
屋内木育施設	21,018	547	1,529人：障害者等
フィールドアスレチック	2,628	477	2,271人：プレミアムパスポート
バーベキュー炉（津幡園地）	966	0	
ボート乗り場	0	0	（利用休止中）
デイキャンプ	118	0	
テニスコート	0	0	（利用休止中）
ログハウス	4,984	0	
オートサイト	1,028	0	
テントサイト	793	0	
バーベキュー炉（三国山園地）	72	0	
合 計	31,890	1,211	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	121,131	人件費	85,658
利用料収入	31,890	光熱水費	15,943
その他	3,287	修繕費	2,311
		その他	51,445
合 計 ①	156,309	合 計 ②	155,357
収支差額 ①－②	952		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和6年5月	キャンプ場で、空いているのに隣の利用者いるサイトとの距離が近かった。	混雑時でない時は、別のサイトを案内できるよう工夫する
令和6年6月	イベント時に子供への話しかけがもう少し多い方が良い。参加人数が多い時はスタッフの数を増やした方が良いのでは。	参加人数により、対応スタッフの人数を調整する

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	特になし	

8 その他報告事項など

<p>令和5年7月豪雨災害により休園していた施設のうち、R6年4月にアスレチック、バーベキュー場、デイキャンプ場、見晴台、緑化の広場について営業再開した。</p> <p>また、R6.4月に動物愛護センターが開所。R6.7月には、屋内木育施設がオープンした。</p> <p>しかし、依然として園内の遊歩道等は利用できない状況が続いており、早期復旧に向けた工事が進められている。</p>

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、Instagram、Facebookによる情報提供をこまめに行い、年代を問わず、県内外にPRを努めている。 ・新たに整備された屋内木育施設に関しては、休日は人数制限を行うほどの人気施設となっているが、職員のこまめな見回り等の適切な管理により問題なく運営されている。 ・自主事業、イベントを開催するなど、利用者の増加に努めている。 ・津幡町を中心に多くのイベントにも連携・協力し、サービスの向上、利用促進に積極的取り組んでいる。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月豪雨災害のにより通行止めとなっていた道路も含め、園内の除草等は適期に行われ、専門業者へ保守点検を委託するなど適切な維持管理と修繕に努めている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の管理技術向上のため各種研修の自主的な実施や消防訓練、安全衛生委員会の開催するなど、安全管理技術の向上に努めている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められており、緊急時にも適切に処理されている。 ・津幡町消防本部と連携し、全職員を対象とした「救急救命訓練」を開催しているほか、主要施設には救急用具などが入ったバッグを配備し、緊急時に備えている。
総合評価	B	

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--